

人が集まる「人」をつくる、大学。



四国大学は、これまでの 100 年を礎に、これからの 100 年を創造します。

報道関係者 各位

令和 5 年 12 月 4 日
四国大学／四国大学短期大学部
学長 松重 和美
短期大学部幼児教育保育科
林 夏木

「(12/13) 表現人 2023 ～共存の輝き～」追加案内

平素は本学の教育研究活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

件名行事については、11 月 29 日にご案内させて頂いておりますが、テーマと新要素の追加説明として改めてご案内させて頂きました。

本年度は「共存の輝き」をテーマに掲げ、多文化共生時代に向け、ダイバーシティ（多様性）への理解を深めるための取り組みの 1 つに位置付けております。内容は、これまでの創作舞踊に加え、本学の外国人留学生による身体表現を用いた落語や、各国のお国紹介と民族舞踊の披露を企画しております。

現在の本学には 140 名を超える 7 カ国の外国人留学生在籍し、正規学生として学んでおります。卒業して日本の社会人として活躍している留学生も 70 名を超えており、徳島が好きになり、このまま徳島で働きたいとの思いで県内に就職した卒業生も 15 名を超えて存在しております。今回の表現人 2023 では、ベトナム、中国、インドネシア、ネパールの 4 カ国 25 名の留学生（在学生）が参加し、日本人学生達と一体となって公演を創り上げているところです。本番のフィナーレでは、日本人と留学生が、国や民族を超えて共に踊り、会場を盛り上げる予定です。また、鳴門教育大学の 2 年生も 1 作品を提供してくれることとなり、徳島県内の 2 大学が競演する貴重な公演となります。多文化共生社会の保育士、小学校教諭の資質向上に向けた本学の新たな取り組みにご注目ください。

つきましては、別紙の通り開催いたしますので、開催告知および取材等ご配慮くださいますようお願いいたします。

【ベトナムの留学生グループ】



【インドネシアの留学生グループ】

